

## GPSMAP® 15X3 インストールガイド

### 安全に関する警告と注意事項

#### ⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

電源ケーブルを接続するときには、インラインヒューズホルダーを取り外さないでください。火事や過熱による怪我や製品損傷の可能性がありますので、製品仕様で指定されている適切なヒューズを必ず取り付けてください。適切なヒューズを取り付けずに電源ケーブルを接続した場合、製品保証は無効になります。

このデバイスを以下の手順に従って設置しない場合、怪我を負ったり、船舶やデバイスが破損したり、製品の性能が低下したりするおそれがあります。

#### ⚠ 注意

目や耳の保護、または粉塵による被害等を防止するため、掘削や切断、研磨作業等を行う際には、常に安全メガネや防音用の耳栓、防塵マスクを着用してください。

怪我またはデバイスや船舶の破損を防ぐため、船舶の電源を切ってからデバイスを取り付けてください。

怪我またはデバイスや船舶の破損を防ぐため、ガイドの指示に従ってデバイスが適切にアースされていることを確認してから電源を供給してください。

怪我や本機および船舶の損傷を防ぐために、本機の実装は、船舶が陸上にある場合か、または船舶が穏やかな水面にあり確実に固定され係留されている場合にのみ実施してください。

#### 注記

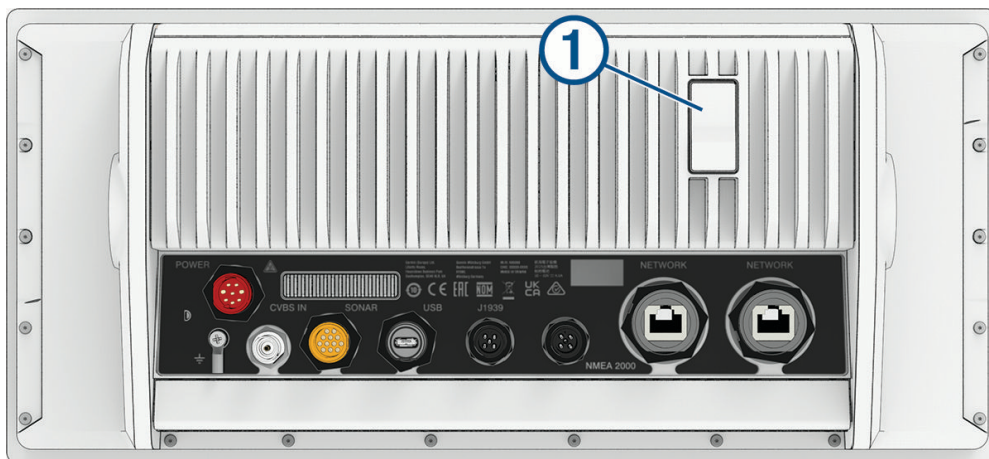
船舶の破損を防ぐため、ドリルで穴を開けたり、のこぎりで切断したりする場合は、表面の反対側に何があるか常に確認してください。


取り付けの前に、インストールガイドをすべてお読みください。取り付け時に問題が発生した場合は、Garmin® 製品サポートにお問い合わせください。

### 必要な工具

- ・ ドリルおよび 14 mm (  $\frac{9}{16}$  in. ) ビット ( 面を切断する準備をするため )
- ・ 糸のこまたはロータリーツール
- ・ やすりとサンドペーパー
- ・ マリンシーラント ( 推奨 )

## コネクタビュー



①	microSD®メモリーカードスロット x 2、最大カードサイズ 32 GB、FAT32 または exFAT 形式にフォーマット、速度クラス 10 以上。
POWER	電源と NMEA® 0183 ネットワーク
	アースねじ (オプション)
CVBS IN	コンポジットビデオ入力
SONAR	12 ピン振動子
USB	互換性のある Garmin カードリーダー用の Micro USB
J1939	エンジンまたは J1939 ネットワーク
NMEA 2000	NMEA 2000®ネットワーク
NETWORK	Garmin Marine Network

## ソフトウェア更新

インストール後に、チャートプロッターソフトウェアの更新が必要となる場合があります。ソフトウェアの更新方法については、[garmin.com/manuals/gpsmap15x3](http://garmin.com/manuals/gpsmap15x3) の操作マニュアルを参照してください。

## 取り付けに関する注意事項

### 注記

このデバイスは、過酷な温度環境や状況にさらされない場所に取り付ける必要があります。このデバイスの温度範囲は、製品の仕様に記載されています。保管の場合でも、稼動状況であっても、仕様で定められた適切な温度の範囲を外れて、過酷な温度に長時間さらされている場合、デバイスが故障する可能性があります。過酷な温度で生じた損害や派生的な結果については、保証の対象外になります。

ダッシュボードなどの平らな面に本デバイスをフラッシュマウントで取り付ける場合は、ブラケットを使用して、張力をかけてデバイスを取り付け面の裏側から開口部に保持します。設置場所を選ぶ際は、穴を開ける前に、取り付け面の裏側にアクセスでき、ブラケットをデバイスに取り付けて固定できることを確認する必要があります。また、取り付け面の後ろにブラケットとケーブル接続のための十分な空間があることを確認してください。必要な空間は、取り付け面の厚み、使用するブラケットのタイプ、および接続するケーブルによって異なります。

デバイスをフラッシュマウントで取り付ける場合、取り付け面の曲率が  $0.5\text{ mm}$  ( $1/64\text{ in.}$ ) を超えてはいけません。曲率がこの許容範囲を超える面にデバイスをフラッシュマウントで取り付けると、デバイスが損傷する可能性があります。

注：このデバイスは、製品ボックスに同梱されている金具を使用してフラッシュマウントで取り付けることができます。代わりにデバイスをベイルマウントで取り付ける場合は、オプションのベイルマウントアクセサリを Garmin 販売店または [garmin.com](https://garmin.com) から購入できます。

取り付ける場所を選択する際は、次の注意事項に従ってください。

- デバイスを取り付ける場所は、取り付けの際に取り付け面の裏側にアクセスでき、十分な空間を確保できる場所である必要があります。
- デバイスをフラッシュマウントで取り付ける場合は、曲率が  $0.5\text{ mm}$  ( $1/64\text{ in.}$ ) を超えない比較的平らな面を選んでください。
- 取り付け場所は、操船時に最も見やすい場所にする必要があります。
- 取り付け場所には、キーパッド、タッチスクリーン、カードリーダー（使用可能な場合）など、すべてのデバイスインターフェイスに容易に手が届く空間が必要です。
- 取り付ける場所は、デバイスの重さを支えられる強度があり、過度の振動や衝撃からデバイスを保護できる必要があります。
- 磁気コンパスの干渉を受けないように、製品の仕様書に記載されたコンパスの干渉距離からデバイスを遠ざけて取り付けてください。
- 取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。
- デバイスを面一取り付けする場合は、場所を平らな水平面にする必要はありません。取り付け場所は垂直角にある必要があります。
- デバイスを取り付ける前に、取り付け場所と表示角度をテストする必要があります。ディスプレイの上下に高い表示角度にすると、悪い画像に見える場合があります。

## デバイスをフラッシュマウントで取り付ける

### 注記

このデバイスをフラッシュマウントで取り付けるために必要なハードウェアを取り付けるには、取り付け面の裏側にアクセスできる必要があります。取り付け面の裏側にアクセスできない場合は、このデバイスのフラッシュマウントによる取り付けを試みないでください。ダッシュボードに穴を開けた後に設置を完了できず、船舶に損傷を与える可能性があるためです。

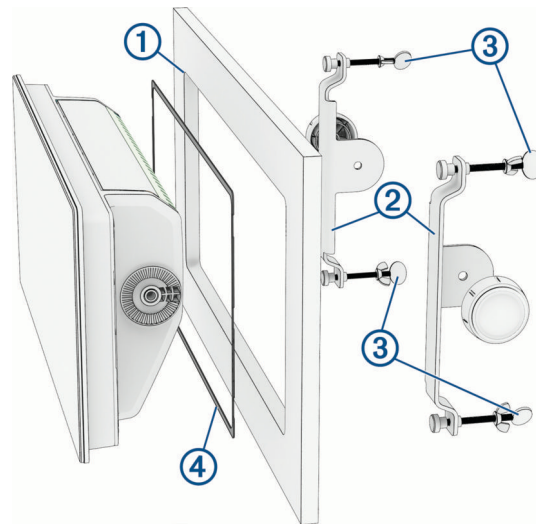
デバイスをフラッシュマウントで取り付けるために穴を開ける場合は、十分に注意してください。穴の端から ( デバイスを取り付け面に固定する ) ベゼルの端までの間隔は非常に狭くなっています。穴が大きすぎると、取り付けたデバイスの安定性が損なわれる可能性があります。

取り付け後にデバイスの背面にある microSD メモリーカードスロットに簡単にアクセスできない場合は、取り付け前に microSD メモリーカードをカードスロットの 1 つまたは両方に挿入するか、取り付け後にカードを簡単に抜き差しできるようにオプションの Garmin カードリーダーを取り付ける必要があります。

付属のテンプレートとブラケットを使用して、デバイスをダッシュボードに取り付けることができます。

付属のブラケットは、厚さが 25 mm ( 1 in. ) 以下の取り付け面にデバイスを固定するように設計されています。取り付け面の厚さが 25 mm ( 1 in. ) を超える場合は、50 mm ( 2 in. ) までの厚さの面に対応するブラケットを Garmin 販売店または [garmin.com](http://garmin.com) から購入できます

- 1 テンプレートを取り出して、デバイスを取り付ける場所にテンプレートがフィットすることを確認します。
- 2 取り付け位置にテンプレートをしっかりと取り付けます。
- 3 14 mm (  $\frac{9}{16}$  in. ) ドリルビットを使用して、テンプレートに印刷された実線の角の内側に 1 か所以上の穴を開け、取り付け面を切断する準備をします。
- 4 糸のこ、ジグソー、またはサンダーを使用して、テンプレートの内側の線に沿って取り付け面を切断します。
- 5 取り付け面からテンプレートを取り外します。
- 6 切断部 ① に合わせてデバイスを置き、上手くフィットするか確認します。



- 7 必要に応じて、やすりとサンドペーパーを使用して切断部のサイズを調整します。
- 8 デバイスが切断部にフィットしたら、最終的な締め付けを簡単にできるように、ブラケット ② をデバイスの横に置き、取り付け面の裏側近くにねじ ③ を合わせておきます ( オプション )。
- 9 デバイスの後部に発泡ガスケット ④ を取り付けます。  
一部の発泡ガスケットは、裏側に接着面があります。これらをデバイスに取り付ける前に、保護ライナーを取り外したことを確認します。
- 10 取り付けした後でデバイスの後部にアクセスするのが難しくなる場合は、デバイスの後部に必要なケーブルをすべて接続し、microSD カードを差し込んでから、切断部に取り付けることができます ( オプション )。

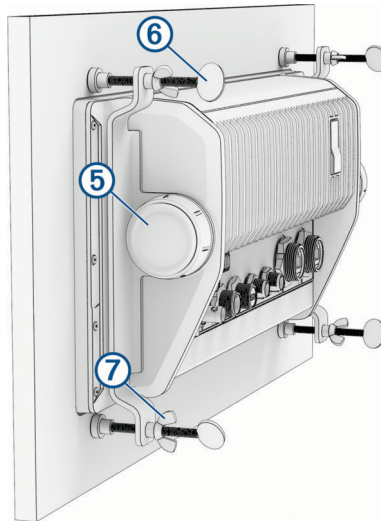
### 注記

金属の接触部が腐食しないように、未使用のコネクタには付属のウェザーキャップを取り付けます。

11 ベゼルの内側に沿って発泡ガスケットにマリンシーラントをビード状に塗布し、デバイスを切断部に挿入します。

ヒント：ブラケットを裏側に取り付けている間にデバイスが取り付け面から落下しないようにするには、マスキングテープを使用するか、別の人の助けを借りてデバイスを所定の位置に保持します。

12 ブラケットの1つをデバイスの横に置き、付属のノブ ⑤ の1つを使用して固定します。



13 もう一方のノブを使用して、もう一方のブラケットをデバイスの反対側に固定します。

14 取り付け面の裏側に当たるまで蝶ねじ ⑥ の1つを締めます。

この時点ではねじを完全に締めないでください。後で完全に締めます。

15 他の3本のねじを締めて、デバイスを取り付け面の所定の位置に固定します。

16 デバイスを前面から見て、必要に応じて調整しながら、デバイスを意図した位置にまっすぐに配置します。

17 4本のねじをすべて締めて、デバイスを取り付け面にしっかりと固定します。このとき、ねじを締めすぎないように注意してください。

#### 注記

蝶ねじは指の力だけを使って締めてください。指の代わりに工具を使用したときに蝶ねじを締めすぎると、取り付け面、デバイス、またはその両方が損傷する可能性があります。

18 各蝶ねじにある4個の蝶ナット ⑦ を締めて、現在の深さで蝶ねじをロックします。

注：蝶ナットは、デバイスを表面に固定するための張力を提供するものではありません。これらのねじは、時間の経過とともに蝶ねじが緩むのを防ぐように設計されています。



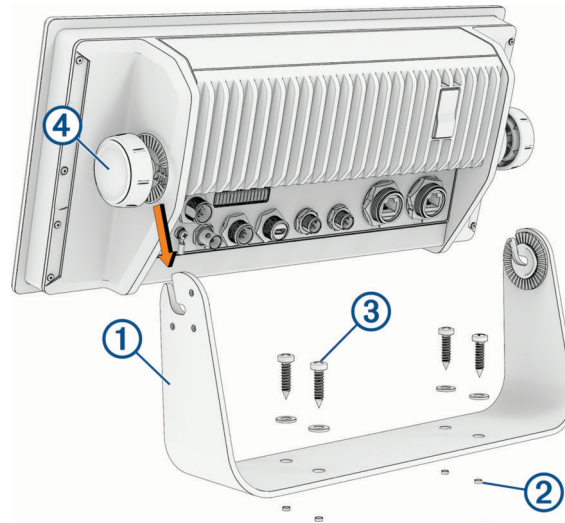
## デバイスをベイルマウントで取り付ける

### 注記

ねじでブラケットをガラスファイバーに取り付ける場合は、カウンターシンク形のドリルで、最上部のジェルコーティング層のみにカウンターボア(ナットの頭を収める空間)を開けることをお勧めします。このように処理することで、ねじを締めるときにジェルコーティング層のひび割れを防ぐことができます。

ベイルマウントブラケット(別売)を使用すると、デバイスを平らな面にベイルマウントで取り付けることができます。

1 ベイルマウントブラケット ① をテンプレートとして使用して、パイロット穴をマークします。



2 ドリルを使用してパイロット穴 ② を開けます。

3 ブラケットに付属の取り付けねじ ③ または独自の取り付け金具を使用して、ベイルマウントブラケットを取り付け面に固定します。

4 デバイスの左右にベイルマウントノブ ④ を取り付けます。

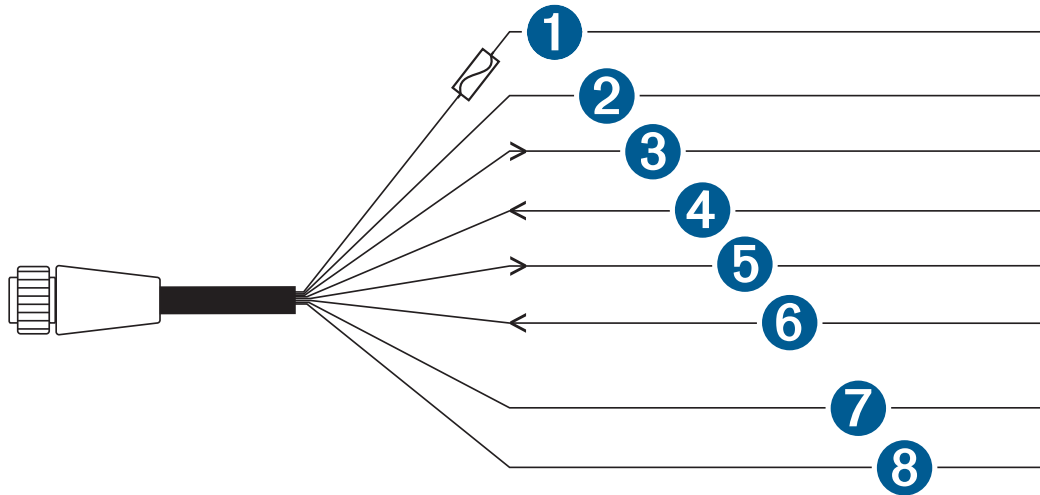
5 デバイスをベイルマウントブラケットに取り付けて、ベイルマウントノブを締めます。

## 接続に関する注意事項

ケーブルをデバイスに接続した後、各ケーブルを固定するためのロックリングを締めます。

## 電源 / NMEA0183 ケーブル

- 配線ハーネスはデバイスを電源、NMEA0183 デバイス、ランプまたはホーンに接続して、警告表示や警告音を使用できるようにします。
- 電源およびアース線を延長する必要がある場合は、延長の長さに適した電線規格を使用する必要があります (電源ワイヤーの延長, 8 ページ)。
- NMEA 0183 または警報のケーブルを延長する場合は、22 AWG ( 33 mm<sup>2</sup> ) ケーブルを使用してください。
- このケーブルには、干渉測定方式の NMEA 0183 入力ポート 1 つと出力ポート 1 つがあります。



アイテム	ケーブルの色	ケーブルの機能
①	赤	電源
②	黒	アース ( 電源および NMEA 0183 )
③	青	NMEA 0183 TxA ( Out + )
⑤	グレイ	NMEA 0183 TxB ( Out - )
④	茶	NMEA 0183 RxA ( In + )
⑥	紫	NMEA 0183 RxB ( In - )
⑦	橙	アクセサリ ( オン )
⑧	黄	警報 ( 低 )

## 配線ハーネスを電源に接続する

### ⚠ 警告

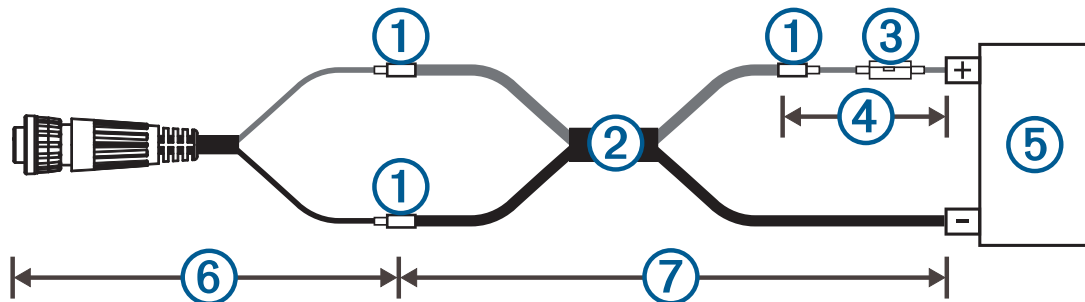
電源ケーブルを接続するときには、インラインヒューズホルダーを取り外さないでください。火事や過熱による怪我や製品損傷の可能性がありますので、製品仕様で指定されている適切なヒューズを必ず取り付けてください。適切なヒューズを取り付けずに電源ケーブルを接続した場合、製品保証は無効になります。

- 1 電源とデバイスに配線ハーネスを接続します。
- 2 正極 (+) のバッテリー端子に赤いケーブルを接続し、負極 (-) のバッテリー端子に黒いケーブルを接続します。
- 3 必要に応じて、ロックリングと O リングを配線ハーネスの端に取り付けます。
- 4 ケーブルをデバイスの裏側の POWER コネクタに挿入し、しっかりと押し込みます。
- 5 ロックリングを時計回りに回し、ケーブルをデバイスに接続します。

### 電源ワイヤーの延長

延長する距離に応じて適切な電線規格を使用することで、必要に応じて電源ワイヤーを延長できます。

注：このケーブルの電源ワイヤーは赤 (+) と黒 (-) です。このケーブルの他のワイヤーは、他のオプションの接続に使用され、この図には示されていません。



①	延長
②	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 最大 4.6 m ( 15 ft. ) : 10 AWG ( 5.26 mm<sup>2</sup> ) 延長ワイヤー</li><li>・ 最大 7 m ( 23 ft. ) : 8 AWG ( 8.36 mm<sup>2</sup> ) 延長ワイヤー</li><li>・ 最大 11 m ( 36 ft. ) : 6 AWG ( 13.29 mm<sup>2</sup> ) 延長ワイヤー</li></ul>
	ヒューズ ( 6 A、125 V 速断型 )
③	<div>注記</div> <p>ヒューズはできるだけバッテリーの近くに取り付ける必要があります。電源ワイヤーを延長するときは、インラインヒューズを取り外し、バッテリー接続部の近くに移動します。</p>
④	20.3 cm ( 8 in. )
⑤	バッテリー
⑥	20.3 cm ( 8 in. )
⑦	11 m ( 36 ft. ) 最大延長

### その他のアースに関する注意事項

このデバイスは、ほとんどのインストールの場合において、シャーシによるアースを追加する必要はありません。干渉が発生している場合は、ハウジングのアースねじを使用して、船の海面アースにデバイスを接続し、干渉を避けることができます。



## Garmin Marine Network に関する注意事項

### 注記

FLIR®カメラなどのサードパーティデバイスを Garmin Marine Network に接続する場合は、Garmin Marine Network PoE 分離ケーブル ( 010-10580-10 ) を使用する必要があります。Power over Ethernet ( PoE ) デバイスを Garmin Marine Network チャートプロッターに直接接続すると、Garmin チャートプロッターが損傷し、PoE デバイスが損傷する可能性があります。Garmin Marine Network 海図プロッターにサードパーティ製デバイスを直接接続すると、正常にオフにならない、またはソフトウェアを操作できないなど、Garmin デバイスで異常な動作が発生します。

このデバイスは増設の Garmin Marine Network デバイスに接続して、レーダー、ソナー、詳細地図など、データを共有することができます。Garmin Marine Network デバイスをこのデバイスに接続する場合、次の注意事項に従ってください。

- Garmin Marine Network に接続されたデバイスはすべて、同じアースに接続してください。Garmin Marine Network デバイスに複数の電源を使用する場合は、低抵抗接続を使用してすべての電源からのすべてのアース接続を接続するか、共通のグランドバスバー ( 利用可能な場合 ) に接続する必要があります。
- すべての Garmin Marine Network 接続に、Garmin Marine Network ケーブルを使用する必要があります。
  - Garmin Marine Network の接続には、サードパーティ製の CAT5 ケーブルや RJ45 コネクタを使用しないでください。
  - 追加の Garmin Marine Network ケーブルやコネクタは、担当の Garmin 販売店から入手できます。
- このデバイスには、それぞれがネットワークスイッチとして機能する NETWORK ポートがあります。互換デバイスは、NETWORK ポートに接続して、Garmin Marine Network ケーブルで結ばれているポート上の全デバイスとデータを共有できます。

## NMEA 2000 に関する注意事項

### 注記

既存の NMEA 2000 ネットワークに接続している場合は、NMEA 2000 電源ケーブルを識別します。NMEA 2000 ネットワークで正常に動作させるには、NMEA 2000 電源ケーブルは 1 本のみ必要です。

既存の NMEA 2000 ネットワークのメーカーが不明な施設では、NMEA 2000 Power Isolator ( 010-11580-00 ) を使用してください。

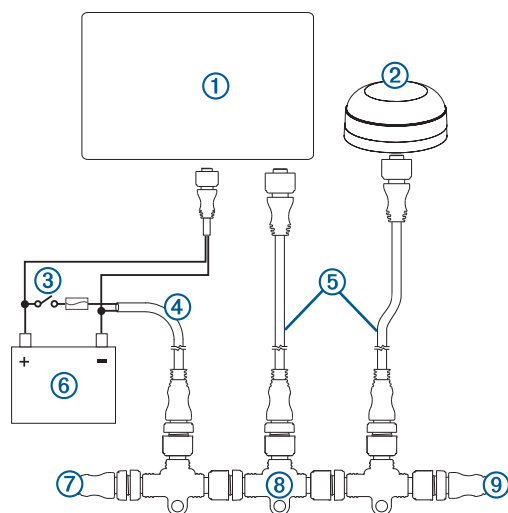
NMEA 2000 電源ケーブルを取り付ける場合は、そのケーブルをボートのイグニションスイッチまたは別のインラインスイッチに接続する必要があります。NMEA 2000 電源ケーブルがバッテリーに直接接続されている場合、NMEA 2000 デバイスによりバッテリーの電力が消費されます。

このデバイスはポート上の NMEA 2000 ネットワークに接続して、GPS アンテナや VHF ラジオなど、NMEA 2000 互換デバイスとデータを共有できます。付属の NMEA 2000 ケーブルとコネクタを使用すると、デバイスを既存の NMEA 2000 ネットワークに接続できます。既存の NMEA 2000 ネットワークが無い場合は、Garmin 製ケーブルを使用して基本的なネットワークを構築できます。

このデバイスは NMEA 2000 ネットワーク経由で電源が供給されていません。デバイスを電源に接続する必要があります (配線ハーネスを電源に接続する, 8 ページ)。

NMEA 2000 に慣れていない場合は、[garmin.com/manuals/nmea\\_2000](http://garmin.com/manuals/nmea_2000) にある NMEA 2000 製品のテクニカルリファレンスをお読みください。

デバイスを標準的な NMEA 2000 ネットワークに接続するために、NMEA 2000 のラベルが付いたポートを使用します。



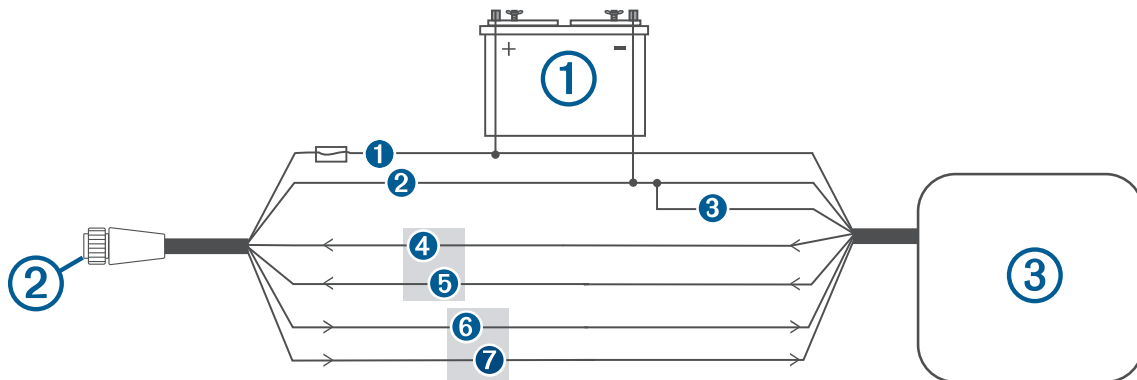
アイテム	説明
①	NMEA 2000 互換 Garmin デバイス
②	GPS アンテナ
③	イグニッションまたはインラインスイッチ
④	NMEA 2000 電源ケーブル
⑤	NMEA 2000 ドロップケーブル
⑥	DC 12 V 電源
⑦	NMEA 2000 ターミネーターまたはバックボーンケーブル
⑧	NMEA 2000 T コネクタ
⑨	NMEA 2000 ターミネーターまたはバックボーンケーブル

## NMEA 0183 の接続に関する注意事項

- ・ チャートプロッターには、Tx ( 転送 ) ポート 1 基および Rx ( 受信 ) ポート 1 基が搭載されています。
- ・ 各ポートには、NMEA 0183 の慣例に従って、A および B とラベルが付いた 2 本のケーブルがあります。各内部ポートの対応する A および B ケーブルは、NMEA 0183 デバイスの A ( + ) および B ( - ) ケーブルに接続する必要があります。
- ・ このチャートプロッターへのデータ入力のために、Rx ポートに 1 台の NMEA 0183 デバイスを接続できます。また、チャートプロッターで出力されたデータを受信するために、Tx ポートに最大 3 台の NMEA 0183 デバイスを並行して接続できます。
- ・ 転送 ( Tx ) ケーブルと受信 ( Rx ) ケーブルを区別するには、NMEA 0183 デバイスのインストールガイドを参照してください。
- ・ ケーブルを延長して使用する場合は、22 AWG ( 0.33 mm<sup>2</sup> ) シールドツイステッドペアケーブルを使用してください。ハンダですべての接続部を固定し、熱収縮チューブで密封します。
- ・ 特定の設置タイプの指示がない限り、このデバイスからの NMEA 0183 データケーブルを電源アースに接続しないでください。
- ・ チャートプロッターの電源ケーブルと NMEA 0183 デバイスは共通の電源アースに接続してください。
- ・ 内部 NMEA 0183 ポートおよび通信プロトコルは、チャートプロッターで設定されます。詳細については、チャートプロッターマニュアルの NMEA 0183 セクションを参照してください。
- ・ チャートプロッターがサポートする承認済み NMEA 0183 センテンスのリストは、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

## NMEA 0183 デバイスの接続

この図に、データを送受信するための双方向接続を示します。この図は片方向通信にも使用できます。Garmin デバイスに接続している場合、NMEA 0183 デバイスから情報を受信するには、アイテム①、②、③、④および⑤を参照して下さい。Garmin デバイスに接続している場合、NMEA 0183 デバイスに情報を送信するには、アイテム①、②、③、⑥、および⑦を参照してください



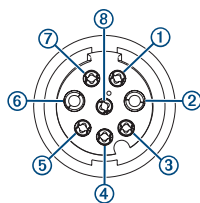
アイテム	説明
①	電源
②	電源 / NMEA 0183 ケーブル
③	NMEA 0183 デバイス

アイテム	Garmin ケーブルの機能	Garmin ケーブルの色	NMEA 0183 デバイスのケーブルの機能
①	電源	赤	電源
②	電源ケーブルのアース	黒	電源ケーブルのアース
③	データケーブルのアース	黒	データケーブルのアース
④	Rx/A ( In + )	茶	Tx/A ( Out + )
⑤	Rx/B ( In - )	紫	Tx/B ( Out - )
⑥	Tx/A ( Out + )	青	Rx/A ( In + )
⑦	Tx/B ( Out - )	グレイ	Rx/B ( In - )

NMEA 0183 デバイスの入力 ( 受信、Rx ) ケーブルが 1 本しかない場合 ( A、B、+、-はない )、灰色のケーブルは接続しないでください。

NMEA 0183 デバイスに出力 ( 送信、Tx ) ケーブルが 1 本しかない場合 ( A、B、+、-はない )、紫色のケーブルをアースに接続してください。

### NMEA 0183 および電源ケーブルのピン配列

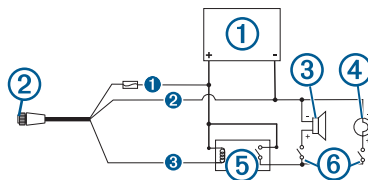


ピン数	ケーブルの機能	ケーブルの色
③	NMEA 0183 Tx/A ( Out + )	青
④	NMEA 0183 Rx/A ( In + )	茶
①	NMEA 0183 Tx/B ( Out - )	グレイ
⑦	NMEA 0183 Rx/B ( In - )	紫
⑤	警報	黄
⑧	アクセサリ ( オン )	橙
②	アース ( シールド )	黒
⑥	VIN	赤

## ランプおよびホーンを接続する

チャートプロッターにメッセージを表示するときに、アラートを音または光で出力させるために、デバイスではランプ、ホーン、またはその両方を使用できます。これらの使用は任意であり、デバイスを正常に機能させるために、アラームのケーブルを使用する必要はありません。デバイスをランプまたはホーンに接続するとき、次の注意事項に従ってください。

- ・ アラーム音の出力時には、アラームの回路を低電圧の状態に切り替えます。
- ・ 最大電流は 100 mA です。海図プロッタの電流を 100 mA に制限するためリレーが 1 つ必要になります。
- ・ 光と音のアラートを手動で切り替えるには、単極単一スイッチを取り付けることができます。



アイテム	説明
①	電源
②	電源ケーブル
③	ホーン
④	ランプ
⑤	リレー ( 100 mA コイル電流 )
⑥	ランプやホーンのアラートをオン / オフにするにはスイッチを切り替えます

アイテム	ケーブルの色	ケーブルの機能
①	赤	電源
②	黒	アース
③	黄	警報

## J1939 エンジンネットワーク接続に関する注意事項

### 注記

チャートプロッターを J1939 エンジンネットワークに接続するときには、水分による腐食を防止するため、Garmin GPSMAP J1939 付属ケーブルを使用する必要があります。別のケーブルを使用した場合、保証が無効になります。

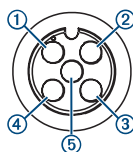
ポートに既存のエンジンネットワークがある場合、既にそのシステムは電源に接続されている必要があります。他の電源は追加しないでください。

このチャートプロッターをポート上のエンジンネットワークに接続すると、特定のエンジンなどの互換デバイスからデータを読み込むことができます。エンジンネットワークは、規格に従い、専用のメッセージを使用します。

チャートプロッターを接続する場合は、エンジンまたはエンジンネットワークのメーカーにお問い合わせください。メーカーによっては、予期しない動作を回避するために接続するときに従う必要がある要件がある場合があります。

デバイスを既存のエンジンネットワークに接続するには、J1939 のラベルが付いたポートを使用します。ケーブルは、エンジンネットワークバックボーンの 6 m ( 20 ft. ) 以内に配線する必要があります。

Garmin GPSMAP J1939 付属ケーブルは、電源と適切な終端に接続する必要があります。エンジンネットワークへの接続方法について詳しくは、メーカーのエンジンの説明書等を参照してください。



ピン	ケーブルの色	説明
①	裸線	シールド
②	赤	電源、正
③	黒	電源、負
④	白	CAN 高
⑤	青	CAN 低

## コンポジットビデオに関する注意事項

この海図プロッタでは、CVBS IN というラベルの付いたポートを使用してコンポジットビデオソースからビデオ入力できます。コンポジットビデオを接続するときは、次の注意事項に従ってください。

- CVBS IN ポートでは、BNC コネクタを使用します。CVBS IN ポートとコンポジットビデオソースの接続に RCA コネクタを使用するには、BNC - RCA アダプタが必要です。
- ビデオは Garmin Marine Network で共有されますが、NMEA 2000 ネットワークでは共有されません。



## 仕様

寸法 ( 幅×高さ×奥行き )	388.9 × 178.5 × 82.9 mm ( 15 <sup>5</sup> / <sub>16</sub> × 7 × 3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub> in. )
カバー付きベイルマウントの寸法 ( 幅×高さ×奥行き )	397.1 × 182.5 × 113.7 mm ( 15 <sup>5</sup> / <sub>8</sub> × 7 <sup>3</sup> / <sub>16</sub> × 4 <sup>7</sup> / <sub>16</sub> in. )
ディスプレイサイズ ( 幅×高さ )	345.2 × 194.6 mm ( 13 <sup>5</sup> / <sub>8</sub> × 7 <sup>11</sup> / <sub>16</sub> in. ) 369.1 mm ( 15 <sup>9</sup> / <sub>16</sub> in. ) 対角
ディスプレイ解像度	1920 × 720 ピクセル ( IPS )
重量	3.26 kg ( 7.2 lb. )
コンパス安全距離	50 cm ( 19.7 in. )
最大消費電力 ( DC 10 V 時 )	56.93 W
消費電流 ( 代表値、DC12 V 時 )	2.44 A
最大消費電流 ( DC12 V 時 )	4.31 A
温度範囲	-15° ~ 55°C ( 5° ~ 131°F )
材質	ポリカーボネートプラスチックおよびダイキャストアルミニウム製
防水等級	IEC 60529 IPX7 <sup>1</sup>
入力電圧	DC10 ~ 32 V
ヒューズ	6 A、125 V 速断型
NMEA 2000 LEN ( DC 9 V のとき )	2
NMEA 2000 消費電流	最大 75 mA
USB コネクタ	互換性のある Garmin カードリーダー用の micro-USB <sup>2</sup>
無線周波数	2.4 GHz @ 18.4 dBm 最大
メモリーカード	microSD メモリーカードスロット x 2、最大カードサイズ 32 GB、FAT32 または exFAT 形式にフォーマット、速度クラス 10 以上。

<sup>1</sup> このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、[www.garmin.com/waterrating](http://www.garmin.com/waterrating) を参照してください。

<sup>2</sup> 互換性のある Garmin カードリーダーのみをお勧めします。サードパーティ製カードリーダーは、完全な互換性が保証されていません。

## NMEA 2000 PGN 情報

### 送受信

PGN	説明
059392	ISO 承認
059904	ISO の要件
060160	ISO トランスポートプロトコル：データ転送
060416	ISO トランスポートプロトコル：接続管理
060928	ISO アドレス要求
126208	要求グループ機能
126993	ハートビート
126996	製品情報
126998	設定情報
127237	船首方向 / 航路制御
127245	ラダー
127250	船体の船首方位
127258	磁気の偏差
127488	エンジンパラメータ：高速更新
127489	エンジンパラメータ：ダイナミック
127490	電動ドライブステータス：ダイナミック
127491	電気エネルギー貯蔵状態：ダイナミック
127493	転送パラメータ：ダイナミック
127494	電動ドライブの情報
127495	電気エネルギー貯蔵情報
127505	液量
127508	バッテリーの状態
128002	電動ドライブステータス：高速更新
128003	電気エネルギー貯蔵ステータス：高速更新
128259	速度：水の抵抗を考慮
128267	水深
129025	位置：高速更新
129026	COG および SOG：高速更新
129029	GNSS 位置データ
129283	クロストラックエラー
129284	ナビゲーションデータ

PGN	説明
129285	ナビゲーション - ルート / ウェイポイント情報
129539	GNSS DOP
129540	視角内の GNSS 衛星
130060	ラベル
130306	風データ
130310	環境パラメータ ( 廃止 )
130312	温度 ( 廃止 )

## 送信

PGN	説明
126464	送受信 PGN リストグループ機能
126984	アラート応答
127258	磁気変動
127497	トリップパラメータ : エンジン
127502	スイッチバンクコントロール ( 非推奨 )

## 受信

PGN	説明
065030	ジェネレーター平均基本 AC 量 ( GAAC )
065240	指定されたアドレス
126983	アラーム
126985	アラートテキスト
126987	アラートの閾値
126988	アラート値
126992	システムの時刻
127233	落水
127237	船首方向 / 航路制御
127245	ラダー
127251	回頭速度
127252	ヒープ
127257	姿勢
127498	エンジンのパラメータ : スタティック
127501	スイッチバンクステータス
127503	AC 入カステータス ( 廃止 )

PGN	説明
127504	AC 出力ステータス ( 廃止 )
127506	DC 詳細ステータス
127507	充電器ステータス
127509	インバータステータス
128000	船舶リーウェイ角
128275	距離ログ
128780	リニアアクチュエーター
129038	AIS クラス A 位置レポート
129039	AIS クラス B 位置レポート
129040	AIS クラス B 拡張位置レポート
129041	AIS ナビゲーションエイド ( ATON ) レポート
129044	基準面
129285	ナビゲーション：ルート、ウェイポイント情報
129794	AIS クラス A 静的な航海関連データ
129798	AIS SAR 航空機位置レポート
129799	無線周波数 / モード / 電源
129802	AIS 安全関連ブロードキャストメッセージ
129808	DSC コール情報
129809	AIS クラス B "CS" 静的データレポート、パート A
129810	AIS クラス B "CS" 静的データレポート、パート B
130067	ルートとウェイポイントサービス：ルートとウェイポイントの名前と位置
130311	環境パラメータ ( 廃止 )
130313	湿度
130314	実際の圧力
130316	温度：拡張範囲
130569	エンターテインメント：現在のファイルとステータス
130570	エンターテインメント：ライブラリデータファイル
130571	エンターテインメント：ライブラリデータグループ
130573	エンターテインメント：対応ソースデータ
130574	エンターテインメント：対応ゾーンデータ
130576	トリムタブステータス
130577	方向データ

## NMEA 0183 の情報

### 送信

センテンス	説明
GPAPB	APB：方向 / 航路コントローラ ( 自動操舵 ) センテンス「B」
GPBOD	BOD：方位 ( 出発地から目的地まで )
GPBWC	BWC：ウェイポイントへの方位と距離
GPGGA	GGA：全地球測位システムの補正データ
GPGLL	GLL：地理的な位置 ( 緯度と経度 )
GPGSA	GSA：GNSS DOP および稼働中の衛星
GPGSV	GSV：視角内の GNSS 衛星
GPRMB	RMB：推奨される最小限のナビゲーション情報
GPRMC	RMC：推奨される最小限の詳細 GNSS データ
GP RTE	RTE：ルート
GPVTG	VTG：地上のコースと地上での速度
GPWPL	WPL：ウェイポイントの位置
GPXTE	XTE：クロストラックエラー
PGRME	E：推定されるエラー
PGRMM	M：マップ基準面
PGRMZ	Z：高度
SDDBT	DBT：変換器下部の深度
SDDPT	DPT：深度
SDMTW	MTW：水温
SDVHW	VHW：航行速度と方向
TLB	ターゲットのラベル
TLL	ターゲットの緯度と経度
TTD	追跡ターゲットのデータ
ZDA	時刻と日付

## 受信

センテンス	説明
DPT	深度
DBT	変換器下部の深度
MTW	水温
VHW	航行速度と方向
WPL	ウェイポイントの位置
DSC	デジタル選択式通話情報
DSE	拡張デジタル選択式通話
HDG	方向、偏位、および偏差
HDM	方向、磁気
MWD	風向きと風速
MDA	気象複合
MWV	風速と角度
RTE	ルート
VDM	AIS VHF データリンクメッセージ

National Marine Electronics Association ( NMEA ) のフォーマットおよびセンテンスに関する詳細な情報は、[www.nmea.org](http://www.nmea.org) から購入できます。



## J1939 情報

チャートプロッターは J1939 センテンスを受信できます。チャートプロッターは、J1939 ネットワーク上で伝送することはできません。

説明	PGN	SPN
現在の速度でのエンジン負荷割合 ( % )	61443	92
エンジン回転数	61444	190
エンジンマニホールドの排気温度 - 右マニホールド	65031	2433
エンジンマニホールドの排気温度 - 左マニホールド	65031	2434
エンジン補助冷却水	65172	
アクティブ診断トラブルコード	65226	
車両距離	65248	
燃料計の水	65279	
エンジン始動待機ランプ	65252	1081
エンジン過回転テスト	65252	2812
エンジンエア遮断コマンドのステータス	65252	2813
エンジンアラーム出力コマンドのステータス	65252	2814
エンジンの総運転時間	65253	247
ナビゲーションベースの車速	65256	517
エンジン燃料温度 1	65262	174
エンジンオイル温度 1	65262	175
エンジン燃料送出圧力	65263	94
エンジンオイル圧力	65263	100
エンジン冷却水圧力	65263	109
エンジン冷却水温度	65263	110
エンジン冷却水レベル	65263	111
エンジン燃費	65266	183
エンジン平均燃費	65266	185
エンジン吸気マニホールド#1 の圧力	65270	102
バッテリー電位 / 電源入力 1	65271	168
トランスミッション油温度	65272	177
トランスミッション油圧	65272	127
燃料レベル	65276	96
エンジンオイルフィルタ差圧	65276	969

Garmin®、Garmin ロゴ、および GPSMAP®は、米国またはその他の国における Garmin Ltd.の登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

NMEA®、NMEA 2000®、および NMEA 2000 ロゴは、National Marine Electronics Association の登録商標です。HDMI®は HDMI Licensing, LLC の登録商標です。SDHC のロゴは SD-3C, LLC.の商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。

GPSMAP® 1523xsv/1543xsv/1553xsv

M/N: A05068

Garmin Corporation